

平成19年度 事務事業評価表		担当	市民福祉部 保険年金課				内線等	1112
事務事業名	母子家庭等医療費助成事業					事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）	
根拠法令等	蒲郡市母子家庭等医療費助成条例 蒲郡市母子家庭等医療費助成に関する規則					B 条例	B 条例	C 規則

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	社会保護
------	---------------------	-----	------

事務事業の内容

対象（受益者）	18歳到達年度末までの児童を扶養している母子家庭の母及び父子家庭の父とその者に扶養されている18歳到達年度末までの児童に対して
手 段	医療費自己負担分の全額を助成することにより
想定する成果	対象者が適切な医療を安心して受けられるようにする。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
受給者数	1,524人	1,512人	1,560人
受診件数	17,343件	17,048件	18,200件
助成費	45,933,424円	45,332,564円	53,664,000円

成果指標

成果指標名	一人当たり助成費	一件当たり助成費
成果指標の説明	助成費 ÷ 受給者数	助成費 ÷ 受診件数

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		30,140円				29,982円				34,400円			
成果指標		2,649円				2,659円				2,949円			
事業費	事業費	47,946				46,904				54,959			
	人件費	3,465				4,258				4,283			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.15	正規	0.5	非常勤	0.15	正規	0.5	非常勤	0.2
	合計	51,411				51,162				59,242			
財源内訳	国												
	県	22,975				22,097				26,589			
	市債												
	その他	1,576				2,066				1,500			
	一般財源	26,860				26,999				31,153			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	母子家庭等の受給者の医療を助成することにより、対象者が適正な医療を受けることができる。
経済効率性	3	3	3	3	県費補助対象事業であり、財源の1/2は県補助金を受け執行している。
事務効率性	2	1	2	2	助成に関しては現物給付であり、窓口の煩雑さはないが、受給者要件に所得制限があり、毎年、申請・更新が必要となる。
必要性	3	3	3	3	母子家庭等医療費助成は、対象者の経済的負担を軽減し、適正な医療を受けるために必要である。
小計	11	10	11	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	母子家庭等医療費助成事業は、対象者の経済的負担を軽減し適正な医療を受けるための事業であり、社会保障の充実に役立っている。
合計	14	10	14	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	母子家庭等医療費助成事業は、対象者の経済的負担を軽減し適正な医療を受けるための事業であり、社会保障の充実に役立っており、今後も継続したい。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
上記改善点の実施状況

今後さらに改善すべき点

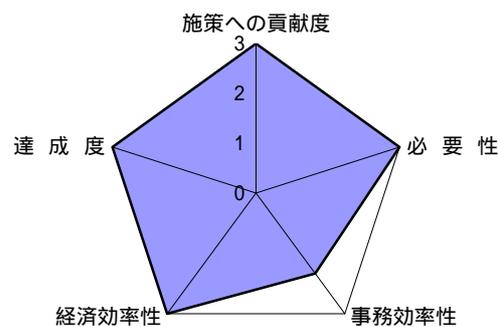
1. 母子家庭等医療費助成は現物給付であり、医療機関での本人負担がないため、本人にこの制度でどれだけ助成しているかを理解されない点があり、この点についてPRする必要がある。

平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

**現状維持**

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】